



越冬明けに求愛するスズボソヤマキチョウ 2020年3月7日 京都府京丹後市 撮影/水谷高典

チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY
CONSERVATION SOCIETY
NEWSLETTER NO.30

日本チョウ類保全協会 会誌30号
October 2020

CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力
我が小諸のバタフライガーデン
 - 06 宮崎県宮崎市における
希少なシジミチョウの保全活動
 - 14 新型コロナウイルスの感染拡大に
よる里山への影響
 - 20 大石田町のメガソーラー発電計画、
その後
 - 24 オガサワラシジミの深刻な状況について
-
- 18 お知らせ/事務局の動き

表紙：キタキチョウ



夏には翅が黒く縁取られるが、秋には全体が黄色くなる。幼虫はメドハギやクサネムなどのマメ科の植物を食べ、身近に見られるチョウのひとつで、夏にはオスが水たまりに集まる姿を見かける。

午後の陽射しを受けて、小さく跳ねるように林縁を飛ぶ姿に、秋の深まりを感じる。木々の色づきには少し早い里山で、センブリの花を訪れた。成虫で越冬し、林縁のササや枯草の茂みのなかで、じっと葉陰に静止したまま春を待つ。

福島県都路町 2019年10月16日
写真・文/永幡嘉之